

新藤大臣におかれましては、経済財政政策、経済再生、新しい資本主義、スタートアップ、感染症危機管理、全世代型社会保障改革を御担当されました。

岸田政権が掲げる「新しい資本主義」の旗印の下、「コストカット型の経済」から「成長型の新たな経済ステージ」への移行への取組を強力に進められました。その際、各省にまたがる施策を有機的に連携させ、政策の実効性を高めることや、フロンティア分野での新たな需要の開拓に力を注いでこられました。

また、経済財政諮問会議における実質的な議論を活性化し、得られた成果を活かしながら「骨太方針」や「経済・財政新生計画」をとりまとめるなど、リーダーシップを遺憾なく発揮されました。

最重要課題の一つである「賃上げ」については、三位一体の労働市場改革等に取り組み、昨年を大きく上回る春季労使交渉での賃上げなどの成果を残されました。さらに、新しい資本主義の取組全体の加速を図るべく「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」改定案の閣議決定に向けて御尽力いただきました。

スタートアップについては、世界最高水準のイノベーションエコシステムの構築というグローバル・スタートアップ・キャンパス構想に関する初めての政府方針のとりまとめにも御尽力いただきました。

感染症危機管理については、統括庁初のロゴマークの策定や全国での訓練の実施、政府行動計画の抜本的な改正に御尽力いただき、我が国における感染症危機管理体制の充実・強化に大きく御貢献されました。

全世代型社会保障改革については、「こども未来戦略」等の閣議決定に加え、人口問題やこども・子育て支援のための気運を社会全体で高めるための基本方針の策定に御尽力いただきました。